

トトロ通信

NO. 110

2023年5月号津山・きびの会通信

〒708-0863 津山市小桁 137-2

TEL 0868-23-0085

川島宅 23-3294、090-7541-5263

「ひきこもり当事者と家族のつどい」に参加して

日笠 久栄

このつどいは、市と津山きびの会と一緒に相談会かできないかという話を市の育成センターの岡本さんとしたことから、市が企画し、関係団体に呼び掛けて3月15日水曜日午後2時から津山市役所東庁舎で開催された。津山市では、ひきこもりのこと話し合う会を公に募集して行われたのは初めてである。

当日は、当会以外に、オレンジハート、未来へ、みんなの集い、しっぽの会が参加。また行政の関係者や支援者や家族の参加があった。約40人ぐらいの参加であったらうか。

みんなのタイムでは当事者と家族の発表が行われ、当会から4人が発表した。それぞれが個々の体験を話し、ひきこもりのきっかけ、ひきこもりエンドのきっかけ、発達障害で困ったり躓いた時の支援の必要性、きびの会に参加して心を開いて話せること、一見みんなと同じように生活しているが内情は引きこもった状態「かくれひきこもり」の存在などについても話された。

グループタイムでは、家族グループが2グループ、当事者と支援者の合同の会が1グループ。それぞれ分かれて話し合いをした。

話し合いの中では、それぞれの思いを吐き出すことが必要である、かくれひきこもりとを感じる、話せる人がいなくて話すことができなくてよかった、家族はついつい口だししてしまうがしたいようにさせることも大切、フリースクールのことを知りたい、支援についての情報が欲しい、当事者家族の体験談を聞いて認識を深めることができた、などの意見があったと全体会で報告された。

この会が行政主導で初めて開催され、当事者の参加はなかったが、家族や一般からの参加があり意義があったと思う。また、ひきこもり支援について考えていく一歩になったのではないだろうか。このことを1回で終わらせるのではなく、何らかの形で次へつなげ、施策にもつながってほしいと思う。

カタクリを愛でる会に参加して

コロナ禍のこともあり、少人数の散策になりましたがカタクリの群生地を見に行きました。見事に咲き誇る、カタクリの花に感動しながらふと若者に目をやると「ワー、きれいだなー」とささやいている姿が目に入りました。山野草（カタクリ草）の魅力か、その生きる力に心を打たれました。これこそが目には見えないけれど何かの力を与えてもらったと感じながら、来年は息子にも参加させてやりたいと思いました。



(H.K)

津山市小桁の浅黄池南東に自生するカタクリの花が見ごろを迎えた。「春の女王」と呼ばれるユリ科の多年草は、3月20日ごろから開花。池のほとりの斜面2カ所（計約100平方メートル）に薄紫色のかれんな花をそこかしこに咲かせている。（山陽新聞 4/1） 画像は浅黄（あさぎ）池



お知らせ

※にぎわい市 5月21日 一番街

焼きそば焼き販売します。(20日こんにゃく造り)

トトロ集合 7:30 現地集合 9:00

※ピュアカフェ 5月28日(日)

トトロの家 14:00~16:00

